

令和7年度 小・中学校における環境教育の取組み

総合的な学習の時間（第6学年）

テーマ【これから海とどう関わっていくかを考えよう】

阪南市立西鳥取小学校

《学習のねらい》

海と関わる仕事をしている方の話を聞き（聞き書き学習）、これまで6年間学んできた海洋教育と繋げて、今後どのように海と関わっていくのか見通しを持つことができる。

《学習の流れ》

実施時期 令和7年12月～令和8年2月

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1 総合	聞き書き学習の事前準備をする <ul style="list-style-type: none"> 聞き書き学習の方法を学ぶ。 海に関わるお仕事をされている方について調べる。（漁師、海遊館元職員、関西エアポート職員） 調べたことをもとに、何を聞きたいかグループで考える。 質問の分担や順番を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「聞き書き学習の手引き」を使う。 ■言葉のキャッチボールの大切さを伝える。 ■事前にゲストティーチャーの方にアポイントをとり、会社の資料等を収集しておく。
2 総合	聞き書き学習を行う <ul style="list-style-type: none"> 3グループに分かれて、聞き書き学習を行う。（45分間） 	<ul style="list-style-type: none"> ■質問に対する回答を受け、更に質問をするように改めて声かけをする。 ■会話が45分間途切れないようにする。
3 総合	これからどのように海と関わっていくか考える <ul style="list-style-type: none"> 聞き取った内容をまとめる。 他のグループに聞き取った内容を紹介する。 聞き取り学習を振り返り、これから自分が海とどう関わっていくか、作文を書く。 お互いの作文を読み合い、感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ロイロノートを使ってまとめる。 ■小学校卒業後やおとなになった時に、海洋教育で学んだことをどう生かしていくかを考えさせる。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー等》

- ・教材：海遊館のHP、関西エアポートさんからいただいた資料
- ・ゲストティーチャー：地元の漁師、海遊館の元職員、関西エアポート職員

《成果》

- ・実際に海に関わった仕事をしている方に話を聞いたことで、インターネットなどで調べてもわからないことを詳しく知ることができ、より一層身近な海について興味関心を持つことができた。
- ・聞き書き学習後の報告会では、他のグループの発表を聞き、3者の職種は異なるけれど、どこも環境保全のための取組みを様々な手法で行っていたり、時には互いに協力し合いながら取組みを進めていたりすることを学べた。
- ・最後のふり返りでは、「ごみを出しすぎないように気をつけたい」「ごみの分別やりサイクルなど、小さなことかもしれないけれど、今自分にできることをしていきたい」「海の環境を守り、資源を大切にしたい」などの考えが出され、海の環境を守るために、自分たちに今できる取組みについて改めて考えることができた。
- ・ゲストティーチャーから、子どもたちの海に関する知識の量や関心の高さを褒めていただいた。6年間通して学んできたことを生かすことができたように思われる。